

8. 結 論

1960年12月29日の異常な大雪の際の天気図を解析した結果、

- (1) 上層の切離高気圧による強いブロッキング状態が存在したこと、
- (2) このブロッキング状態に伴なつて北陸地方上空へ大規模な寒気の移流が起ったこと、
- (3) 寒気移流によって発生した不安定層の転倒のための引き金作用の役を演ずる小擾乱が存在したと、

の3点が明らかになった。

更に、他の大雪の例も検討の結果、大雪には一般的にこの3条件が必要であることが分った。

小擾乱の引き金作用の機構がいかなるものであるかここでは全く触れていないが、これは今後の問題点の1つであつて、それについては宮沢氏の他の⁹⁾の広範な研究は非常に有用と思われるが、今回は資料の都合でこの方向への調査は進め得なかった。

初めの大雪の例に戻って、オホーツク海のオクルードした低気圧の周囲を廻つた小擾乱についてであるが、本稿では気象庁発行の印刷天気図(等圧線は4 mb 毎)上で明瞭に追跡し得たもののみを取り上げたが、その他に、追跡し得ないが存在したものがある。もし

これも前記小低気圧と同様に大低気圧周辺を流されたものとすれば、あるいは北陸各地の降雪の山の時間的ずれの解明に役立つかも知れないが、このためには、時間々隔の短い又地域的にも狭いメソ気象学的な観測網とその解析を必要とする。これは第1の問題点の解明のためにも役立つであろう。

本調査は富山地方気象台長福田喜代志氏の談話にヒントを得てなされたものであり、同氏には本稿のご閲読を願った。ここに記して厚く謝意を表する。又、気象庁予報部須田建氏の論文⁷⁾は全般に非常に参考になった。併せて謝意を表したい。

文 献

- (1) 須田建 (1956): A Persistent Cold-Outbreak in the Far East Related to the Blocking Situation 気象集誌 34, No. 3.
- (2) 磯野謙治 (1956): 気象器械(その2) 地人書館
- (3) 福田喜代志 (1960): 日本の大雪, 雪氷, 22, No. 3.
- (4) Rex, D. F. (1950): 例えばベターセン (加藤訳) 天気解析と天気予報, 第2版, 気象協会発行.
- (5) 宮沢清治編 (1960): 北陸不連続線の検討, 研究時報, 12, No. 6.

気象の英語 (43)

46. true, correct, valid, accurate など

A.C.Dによると、real, actual, および true はともに事実=facts を忠実に表わしていることを意味するのであるが、**real** は特に facts rooted in nature の場合に **actual** は現在の事実に関するもので、過去または将来において事情が変れば変り得るようなものに使われる。たとえば、Sunshine and rain are real. The actual facts of natural science are different today since new elements have been created. **true** は real または actual なときに使う。a true story は「事実の物語=実話」を意味する。true の反対は false である。

事実を抽象化一般化して得られる真理は truth という。が、truthful のことも true (正しい) という。これに似た語には correct, sound, just, right, valid などがある。**correct** は errors や mistakes (誤まり) のないことを、**sound** は defect (欠点) のないことを、**just** は

bias(偏見)のないことを、**right** は真直ぐで間違っていないことを(反対は wrong), 意味する。**valid** はラテン語の validus=strong から来たもので、基礎がしっかりして正しいことを意味する。

また「正確な」に相当する語には、correct, exact, accurate, precise などがある。**correct**は上述のように errors や mistakes (誤まり) がなくて正確なので、**accurate** は正確にしようとする努力の結果、得られるような正確さを暗示する。また **precise** は「くわしい」ことをもあらわし、**exact** は「完全に」正確であることを暗示する。

「適当だ」という意味で「良い」ということがある。たとえば、この観測所の位置は代表性があって良い、というような場合には、もちろん、「正しい」というわけではなく適当だというのであるから、suitable, appropriate, fit などの言葉が用いられる。

(有住 直介)